

# 知床五湖スタッフの

# 1日をのぞき見。

お客様の対応からヒグマ出没時の対応、展示制作、スイレン除去 (!?)  
幅広い業務をマルチにこなす知床五湖スタッフは一体なもの?  
そんな知床五湖スタッフの1日を大公開!

今回のぞき見するのは  
知床五湖フィールドハウス!



## 13:00 地上遊歩道でヒグマが出没!



ヒグマの生息地  
知床五湖は

ガイドさんからヒグマ目撃の無線が!  
お客様の無事やツアーを継続するかを確認。

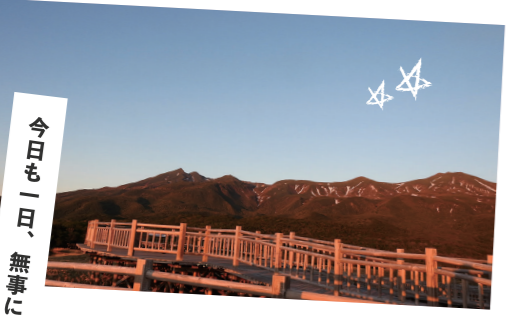
## 10:30 ガイドさんへ最新情報を共有



お客様を案内するガイドさんへ  
ヒグマの最新目撃情報や痕跡情報を共有!

安全管理のために  
情報共有!

## 18:30 閉園作業



おつかれさま  
今日も一日、無事に終了

## 13:30 パトロール



場合によってはお客様が安全に歩けるか  
確認するため地上遊歩道へパトロールに行くことも...!

ヒグマが滞留していないか  
くまなく確認!

## 7:30 朝のそうじ



お客様をきもちよく  
お迎え

## 7:45 SNSで情報発信



リアルタイムな  
情報を発信

その日の散策路の状況や天候などを  
毎朝現地から発信しています!

## 7:55 みんなで最新のヒグマ情報を確認



正しい情報を  
伝えられるように

お客様やガイドさんへ正しい情報を  
伝えられるよう、みんなで毎朝情報を共有!

## 8:00 お客様のお出迎え



開園... | 10:55 | 閉園

## 10:30 展示制作



楽しんでもらえるように  
館内での時間を

旬の自然情報や周辺の  
おすすめ観光地の情報を手作りで制作!

つくっているのは  
絵が得意な  
新人さん!

## 9:00 お客様の対応



知床五湖の情報から  
周辺観光地の情報まで

みなさんは「知床財団の仕事」といえるようなものを想像されますか? ヒグマ対策や、カウントーでのお客様対応などでしょうか。実は知床財団の仕事は、それだけではありません。

今回は知床五湖フィールドハウスのスタッフがどんな仕事をしているのか、のぞき見してきました。

知床五湖ではお客様の対応に必要な観光の知識はもちろん、ヒグマの最新情報を的確にガイドさんやお客様へ伝えなければならぬためヒグマに関する知識も必要とされます。また多くのお客様が訪れる施設のため、自然情報などを伝える展示制作も欠かせない仕事の一つです。知床五湖の仕事と一言にいても、仕事の幅は非常に広いのです。

今年のメンバーはアウトドア好きや花や虫などの自然好き、絵を描くのが得意なスタッフなど様々なバックグラウンドや得意分野を持ったスタッフが勢揃い。それぞれの知識を寄せ合いながら多様なお客様に対応しています。知床へいらした際は素敵なスタッフがいらっしゃる知床五湖をぜひ訪れてみてくださいね。

### — はたらくヒトの声 —

知床五湖の頼れるエース



えぐち

知床に来られる方のほとんどが知床五湖を訪れるので、世界遺産やヒグマに関する情報を多くの方にお伝えできというのが働きがいです!  
私の知床五湖おすすめポイントは、気軽にどなたでも楽しめる「高架木道」です。

お客様が安全に楽しんでいただくためのお手伝いができていることにやりがいを感じています!  
知床五湖の命あふれる豊かな森の中の湖面に、周囲の木々や知床連山が映り込む幻想的な景色は何度見ても胸をうたれます。

知床五湖のムードメーカー

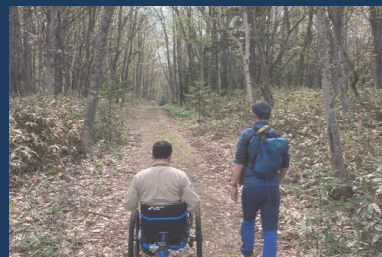


そのだ

※知床五湖フィールドハウスの管理・運営は環境省からの受託事業で行っております。



知床財団のスタッフは普段どんな仕事をしているの？  
あまり知られていない日々の取り組みをご紹介します。



### トライアル! 車椅子で行く知床の森

岡山大学の池谷航介准教授と協働で、森づくりの道「開拓小屋コース」およびフレペの滝遊歩道における車椅子利用の可能性を検証しました。池谷先生は、障がいのある方の支援などインクルーシブな社会の実現を目指した研究をされています。今回は国内に数十台しかないオフロード用車椅子「Mountain Trike (マウンテントライク)」を使って、自分たちで実際に走行してみました。

両コースとも急な坂や段差がある区間でも走行できることが分かり、車椅子ユーザー目線になってみると森や空の見え方が変わることを発見できました。障がいのある方々も当たり前知床の大自然を楽しむことができれば、知床はさらに価値のある場所になると思います。



胸前のレバーハンドルを押して進む仕組みです。  
実際の走行動画は右のQRコードから!



### 羅臼町 ヒグマ対策町内会草刈り

6月2日、羅臼町の共栄町にて「ヒグマ対策町内会草刈り」を行いました。この活動は羅臼町にある17町内会がそれぞれで開催しています。2020年からは町内会、羅臼町役場と協同で行っており、今年で5年目となります。ヒグマが身を隠す可能性のあるフキやササ、イタドリが大量に繁茂しているところや過去にヒグマが潜んだことのある箇所を中心に刈りました。

今回は地域住民の方ももちろん、地元建設業者の方などにもご協力いただき、晴天の中、参加者17名でさわやかな汗を流しました。

地域の皆さまには毎年積極的にご参加いただき、地域一丸となってヒグマ対策に取り組んでいただけることを大変心強く思います。



活動日記  
知床財団



スイレンからみる  
知床五湖スタッフの  
もう一つの顔



知床連山の麓で作業をするスタッフが  
高架木道から見えます!



ボートやサップに乗って地域の人たちと  
作業するスタッフの様子。



絶滅危惧種の在来種・ネムロコホホネ。  
これがたくさん咲くといいなあ。

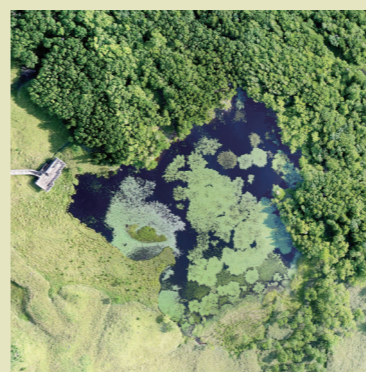


作業後は地域のボランティアさんたちと  
記念撮影! みんな良い笑顔!

スイレンの除去作業は水上で行うので危険も伴う  
え、ヒグマの生息地でもあるので安全への配慮も必要  
です。湖面での作業は楽しそうに見えるかもしれませんが、  
実は常に緊張感をもって作業しています!  
花が好きなら私としては、綺麗な花を咲かせるスイレン  
を除去することは少し心苦しいですが、知床五湖本来  
の生態系を守るために今後も活動していきます。



知床五湖スタッフ 兼  
スイレンマスターズのリーダー かたやま  
応援よろしくおねがいたします!



一湖の湖面をスイレンが覆っている  
様子をドローンで撮影

知床国立公園内知床五湖の1湖は、昭和初期に持ち込まれたとみられる園芸スイレンの繁茂が著しく、在来生態系への影響や、湖面に知床連山が映る特徴的な景観が失われつつあることへの懸念が大きくなっています。当事業は環境省主体で取り組んでおり、昨年度は基礎調査を実施し、除去方法の検討及び地域住民の参画を想定した除去計画を作成しました。今年度は実際に地域住民の方の協力を得ながら本格的な除去作業に取り組んでいます。一度持ち込まれた外来植物を除去し、根絶するには、長い年月が必要ですが、地域と連携を図り、根気強く取り組んでいます。